

有功やまぐち



Vol.13

山口県日赤紹綏有功会

会長挨拶



澤田建設株式会社代表取締役社長

澤田 健規

会員の皆様には、平素から赤十字の支援団体である紹綏有功会の諸事業に多大なるご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日本では昨年、各地で地震や大雨、また山林火災等多くの自然災害に見舞われました。なかでも石川県では、1月に能登半島地震に襲われ、更に9月には大雨災害に見舞われました。これらの災害は大きな人的、物的被害をもたらしており、被災された皆様に、改めて心からお見舞い申し上げます。

一方、国外に目を転じますと、収束の兆しが見えない武力紛争や地震や洪水、旱魃などの自然災害による人道危機はますます深刻さを増しています。

このような現状から、今後、国内外での人道支援ニーズはますます高まることとなり、それに合わせて、日本赤十字社に求められる役割も大きくなることと思います。

当会としても、日本赤十字社がこうした期待に継続して応えていけるよう、引き続き活動の支援していきたいと思いますので、会員の皆様におかれましても、それぞれのお立場でご支援・ご協力をいただきますようお願いします。

事業報告

令和6年度山口県日赤継継有功会総会・講演会

7月24日（水）に開催し、次の4つの議案について審議・承認をいただきました。

- ①令和5年度事業報告・決算
- ②令和6年度事業計画案・予算案
- ③有功会会則一部改定
- ④役員の改選



総会後には、司法書士の先生をお招きし「遺贈・相続セミナー」を開催しました。



講師：林 萬守先生

青少年赤十字（JRC）への支援

青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンターの参加者に記念品として、日本赤十字社の公式キャラクター「ハートラちゃん」がデザインされた三角巾を贈呈しました。この三角巾は、行事のなかの救急法講習やフィールドワークで活用されました。

また、贈呈にあたっては、会長から自身の青少年赤十字（JRC）から得た教訓などを伝える講演も行いました。



国際支援活動

人類の4分の1にあたる20億人が紛争の影響を受ける場所に住んでいる現状を踏まえ、人々のいのちと尊厳を守るために今必要な支援を届けることの意義をアピールするために実施された令和6年度の海外たすけあいキャンペーンに、当会からも支援として、会費の一部を充てました。



全国日赤紺綏・有功会会長協議会総会

令和6年11月6日（水）に、岩手県にて日赤紺綏・有功会会長協議会総会が開催され、澤田会長と平野事務局長が出席しました。

総会では、令和5年収支決算報告、会計監査報告に加え、役員補選として監事の補充提案が承認されました。

総会後には若竹千佐子氏による講演「老いこそ人生の本番、豊穣のとき」が行われました。



山口県支部の活動

コープやまぐちとの防災協定

令和6年8月28日（水）、生活協同組合コープやまぐちと日本赤十字社山口県支部は、防災分野における包括連携協定を締結しました。連携協定の一環として、防災イベント「地域で仲良く学ぼうさい」も定期的に開催し、県民の防災力の向上を図っています。



日本赤十字社山口県支部表彰式

活動資金のご支援や赤十字活動にご尽力いただいた方を対象にした表彰式を行いました。当会会員の宇部流通サービス株式会社様、社会福祉法人高嶺会様が表彰品を受賞されました。また、これをきっかけに株式会社エコル様、有限会社誠心会様が紺綏有功会に入会されました。



大阪・関西万博の赤十字パビリオン

現在、開催されている大阪・関西万博に赤十字も「国際赤十字・赤新月運動」として参加しています。ぜひ、皆さまのご来場をお待ちしております。

開催期間

2025年4月13日（日） – 2025年10月13日（月）

出展概要

出展スローガン

人間を救うのは、人間だ。

～ The Power of Humanity ～

パビリオン
コンセプト

「わたしの“できる”は、誰かのためになる」

パビリオン詳細

Zone1

(プロローグ)



世界中の多様な人々の日常を浮かび上がらせることで、
平穏な日常の尊さを空間全体でまずは再認識してもらう

Zone2

(メインシアター)



突如として理不尽に日常を奪われる
人道危機の厳しい現実を、体験者の
リアルな証言と共にインパクトの強い
映像と効果的な音楽で構成
そして「そこには赤十字がいる…」

Zone3

(エピローグ)



赤十字の幅広い**人道支援活動**の
紹介や大型スクリーンへの**メッセージ投稿**で様々な思いを発信
してもらう

詳細は特設ページもご確認ください
<https://expo2025.jrc.or.jp/>

